

2014年9月23日
発行/日本共産党市議団地域版
自宅/市川市菅野2-14-14-206
Tel/fax 047-323-3640
携帯 090-6310-3294
shimizu@jcp-ichikawa.com
ブログが新しくなりました
http://jcp-shimizu.sblo.jp

日本共産党市議会議員

清水みな子

あおぞらメール No. 7 5



公民館などの使用料最高3倍に

9月議会で修正案、原案 賛成多数で可決 共産党は反対



請願署名は12,271筆を提出し、議員への要請ハガキ約500枚に取り組みました

市長議案である公民館等使用料条例の一部修正案は企業会計方式を導入し、受益者負担の名で公民館など52施設の値上げです。

「使用料を値上げされたら少人数のサークルは消滅してしまう」「高齢者の生きがいを奪わないでほしい」など、請願署名に協力してくれた皆さんへこの間の請願署名や議員への要請ハガキが市議会を動かしました。市長議案に賛成ながら、修正案を出さざるを得ない状況に追い込みました。

修正案は、原案に賛成し来年4月実施を半年間送らせ、27年10月1日から1年間を原案の二分の一の値上げ、しかし、28年10月からは原案通り値上げを最高3倍にする予定です。

共産党市議団は、修正案は市民負担の先延ばしであり、市民の理解は得られないと指摘し、反対しました。

市民に2億円の負担を求める条例案が提出されました。「値上げを許さない市川市民の会」は、6月議会で「継続」となったこと引き続き請願署名に取り組み、累計1万2千筆以上の署名を提出しました。また、議員への要請ハガキにも取り組み、市民へのアピールをしてきました。

市は市民協働といながら、2億円の負担増では、市民活動が抑制されます。

市は、口々に話していません。市は市民協働といながら、2億円の負担増では、市民活動が抑制されます。

9月議会在9月5日から開かれ、公民館などの52施設使用料3倍を限度に見直し、

修正案

値上げを来年9月まで据え置き

原案は来年4月から実施

来年10月から値上げ分2分の1料金

中央公民館（第1会議室）250円→420円

貸し館施設のみ2分の1料金、他は原案通り3倍
都市公園（野球場）600円→1800円（3倍）

H28年10月から原案通り値上げ

中央公民館（第1会議室）250円→590円（2.4倍）

市川地域ふれあい館 90円→260円（2.9倍）

斎場（火葬料）2250円→6750円（3倍）

【2分の1の値上げが対象となる施設】・公民館 ・勤労福祉センター ・急病診療ふれあいセンター集會室 ・斎場（火葬料） ・男女共同参画センター ・地域ふれあい館 ・市民談話室 ・アイリンクセンター・同展望室

【来年10月から原案通り3倍となる施設】・都市公園（野球場、陸上競技場、テニスコート）・市民体育館 ・中国分スポーツ広場 ・斎場（式場、設備など）

戦争はダメ！ 根拠・託に200人

9月6日、300人以上の賛同を得て、「戦争はダメ！ 市川市民の集会とデモ行進」に200



人を超える市民が参加しました。これは、安倍内閣による「集団的自衛権行使容認」の閣議決定に危機感を持っている市民が、実行委員会を立ち上げて、準備会を重ねて開催しました。

デモ行進のあと、市川駅でもアピール行動を行いました。100人近くが残り、チラシ配布や署名行動、「戦争は賛成か反対か」シール投票も行うなど多彩に取り組みました。各団体からのアピールが訴えられました。

地域で大きい音 宣伝に取り込む

西部地域後援会では、月2回の音宣伝に取り組んでいます。ライブ、ヤオコー、ベルクスといったスーパー前を中心に毎回、10人前後の後援会員が参加してくれています。消費税問題、原発問題、沖縄の基地問題、集団的自衛権の問題など、地域の皆さんに訴えています。私も可能な限り、参加し議会報告などをしていきます。車でクラクションを鳴らして応援してくれる人、自転車でも頭を下げて通り過ぎる人など、多くの声援もいただき、元気に宣伝しています。

*無料法律相談のお知らせ

毎月午後2時から5時まで、無料の法律相談を市役所控室で行っています。一人30分。予約制です。

10月8日(水)

高橋勲弁護士

11月7日(金)

高橋高子弁護士

12月5日(金)

高橋勲弁護士



党と後援会のつどい

いっせい地方選挙まで、あと7カ月を切りました。9月14日、党と後援会のつどいを開催しました。今期で勇退する谷藤利子市議からバトンを受け継ぐことになった「ひろた徳子さん」が紹介されました。

岡田幸子県議の3選、市議5議席を勝ち取るために奮闘することを誓いあいました。

私、清水も3期目をめざし頑張る決意を表明。「この4年間に、特養ホーム待機者ゼロをめざす会、公民館等値上げを許さない市川市民の会を立ち上げ、市民運動を取り上げる先頭にたってきたこと、ニュース読者が過去最高であること、市政アンケートに寄せられた要望も実現していること、議会と市民を結ぶパイプ役として、しっかり働きたい」と話しました。

《主な活動報告 8～9月》

☆8月23、24日 生活保護問題議員研修会

今回で6回目の開催です。現場から考える生活保護「改革」と生活困窮者支援をテーマに開かれました。1日目は3つの講演と、実際の生活保護受給者のお話です。金沢市内にある病院友の会を中心に喫茶室や自立支援センターを立ち上げて、いきいきと活動している様子もスライドで報告されました。2日目は分科会と全体会が開かれました。



☆8月31日 市民ミュージカル

第7回市民ミュージカルが文化会館大ホールで開かれました。2年に一回、総勢150人ほどの出演者で、

活気あふれる舞台でした。今年のテーマは、国府台にある赤レンガの倉庫を舞台にした物語でした。演出は初回から、真間に住む演出家の吉原さんです。「赤レンガを生かす会」の代表をしています。

☆9月17日 「長寿を祝う会」を開く

長い間、市川浦安地域で活動している80歳以上の高齢者の皆さんをご招待して、「長寿を祝う会」を開きました。80歳以上が20人、それ以下の方たちも、スタッフの人たちも含めて70人以上が参加しました。

実行委員会を代表して、元県議の前田堅一郎さんがあいさつ。前田さんも90歳になりますが元気いっぱいです。自己紹介をしたあとで、うたごえ、マジック、安来節の踊りなど、余興もたっぷり。「安倍内閣打倒へ、戦争は絶対に許せない。生きてる間は頑張るぞ」と熱気いっぱい。元気をもらいました。